



ベンチ部分(左奥)をはずすと、かまどになります。花崎北公園に設置しました。

私たちは、加須青年会議所は、二〇一六年一〇月に花崎北公園にて防災かまどベンチ設置事業をさせていただきました。近くに住民の憩いの場、自然と集まることのできる温かみのある地点となり、その地域のコミュニティを活性化させるための一助となることを目的とした事業でした。

設置当日は、加須市長並びに副市長、市役所の担当の方々、自主防災組織のメンバーの方たちも多数参加してくださいました。今後行われる自主防災訓練の際にも使用してくださいとのことなので、ベンチという物質的なものだけでなく地域コミュニティ

平成二八年度地域活動支援事業報告 防災・減災事業―防災かまどベンチ設置事業

一般社団法人加須青年会議所 専務理事 若山 智



みんなで見守って設置しました。

イ活性化の一助に寄与できたものであると考えております。

更に、子どもたちには、震災時のことを想定し、自助、共助の心構えを持つ場になってもらえたら良いなと思います。最後に被災

者の方々へ対しての哀悼の気持ちを忘れずに活動を続けていきたいと考えております。

加須青年会議所 加須市の
社会貢献活動を行う20歳から
40歳までの青年経済人の団
体。TEL〇四八〇・六二六二二九

インタビュー…加須市長 大橋良一氏 六月一日 市役所市長室にて 子育てしやすい環境、高齢者が輝くフィールドづくりを

加須市の取り組みにかける思いを聞きました



思いを語る大橋市長(右)と早水 まちづくりネットワーク・かぞ幹事 (左)

結婚から学童保育までサポート

早水…全国的に少子高齢化問題が起きていますが、人口減少対策として加須市は具体的にどのような対策をとっていますか。

大橋…市内で結婚して幸せな家庭を持つていただくことが大事だと考えています。市としてはまず、結婚相談所を支援しています。お見合いや婚活パーティーの企画で、昨年度は一〇組の実績がありました。産まれてきてからの子育てもしっかり支えていきたいと考えています。乳幼児健診の支援や定期予防接種の全額助成をはじめ、子どもの医療費は中学校卒業まで本人負担はありません。この他、不妊治療についても治療費を助成しており、昨年度は四八組の方々に支援しました。

全国的な問題であります「待機児童」ですが、公立七保育園を含む二三施設において、現在、待機児童はおりません。

さらに、平成二七年度から一三園ある幼稚園でも三歳児からの保育を開始したほか、保育料も国基準と比べ、保育園で五割、幼稚園で四割程度です。非常に子育てしやすい

環境が整っています。

また、小学校では、子どもたちの放課後の過ごし方も変化し、学童保育に通う子どもがかなり増えている状況です。残念ながらその点では、待機者が出ており、今後の対策を考えています。

そして、中学校では学力の向上を望む生徒や保護者のニーズに 대응するため、中学生学力アップ教室をつくりました。学習サポーターとして、元教師や教師を目指す学生の皆さんにお手伝いをいただき実現することができました。

高齢者もますます輝いてほしい

大橋…高齢者についてもお話をさせていただけます。人生を全うする、天寿を全うする環境にしたいと考えています。そのためには、元氣、健康を継続し続けることが大事だと考えています。市としては、高齢者が輝けるフィールドを作ることです。グラウンドゴルフ場の整備や筋力アップ体操を推進しています。また、介護予防を目的とした高齢者相談センターも大きな役目を担っています。

市職員若手中心のプロジェクトチームにも期待

早水…加須市には中小企業含め様々な会社があります。その中でも約七五〇人の職員（社員）を雇用している「加須市」という大きな会社のトップとして社員満足度を上げる工夫があったら教えて下さい。

大橋…行政と民間の大きな違いは、利益という考えがあるかどうかです。その中で職員のモチベーションが上がることは、「市民から仕事に認められる」ということです。職員は市民のために役立っていることを常に意識して業務をこなしていることが大事だと思います。

「今の仕事は何のためにやっているのか？」「大きな歯車の中のどの部分なのか？」を考えて、初心を忘れずに日々業務にあたってほしいです。職員とのコミュニケーションですが、若手中心に個人面談を行ったり、少人数でプロジェクトチームを組んでアイデアを出してもらったりしています。

例えば、「夢・未来応援事業」は、プロジェクトチームが考えたプランを採用したものです。この事業

は、市内在住の中学生から二〇歳以下の方の夢への挑戦を市が支援するものです。

様々な分野で1位を目指して

早水…加須青年会議所の二〇一七年のスローガンは「無双」です。「無双」とは他に並ぶものが無いという意味があります。大橋市長にあって他に並ぶものが無いというのはありますでしょうか。

大橋…無双、良いテーマですね。加須市にとつて無双とはどんな分野でも「一位」を目指すということです。医療、子育て、環境など様々な分野でトップを取るということで、そのことが結果として市民サービスの充実につながっていると考えています。

市民との交わりが活力に

早水…四月は実に九一回の公務があったそうです。大変多忙な中でモチベーションの維持方法やリフレッシュの方法があれば教えて下さい。

大橋…五月はもっと多かったのですが・・・（笑）。短い時間でも必

ず顔を出すということを心掛けています。それが私にとつては市長職を務める意味であり、市民の方に直接市長の声を届けることができると思っています。

参加すると、多くの市民と交わり雰囲気を感じる事ができます。それが私のモチベーション維持につながっています。

早水…ありがとうございます。



聞き手	早水 大輔	(まちづくりネットワーク・かぞ幹事/加須青年会議所理事長)
記録	若山 智	(加須青年会議所専務理事 ※上の写真の右)
写真	佐々木 貢一	(まちづくりネットワーク・かぞ 副代表)

まちづくりネットワーク・かぞ 主な事業紹介

1 まちづくり事業への助成
地域活性化のために行なうモデル事業へ助成をします。

2 市民活動ステーションの運営
市民活動ステーション（くらくら館）ではスタッフが市民活動団体や市民活動を希望する方々のサポートをします。

3 市民活動グッズの貸出
まちづくり活動で使用する発電機、マイク、カメラ、ポップコーンマシン、プロジェクターアンプなどを無料で貸し出します。

4 研修会参加者の支援
地域活性化センター等が主催する研修会や交流会への参加旅費を助成し、研修報告会を開催します。

5 アドバイザー・講師派遣
研修会等に講師を派遣します。

6 まちづくりフォーラム開催
加須のまちづくりについてみんなで考え、未来のための提言に繋げるフォーラムを開催します。

心の充実感を知ってしまった仲間たち

まちづくりネットワーク・かぞ 代表 杉沢 正子

私は、樋遣川ひまわり会の活動を始めて二十年になります。今年も、耕作放棄地を耕して仲間とヒマワリの種を蒔きました。十年ほど前から、地域の小、中学生や先生も参加してくれるようになり、活動の楽しさが二倍になりました。夏には樋遣川のあちこちに満開のヒマワリが咲き競います。

夏の終わりに蕎麦を蒔きます。秋には地粉100%の蕎麦を地域の皆さんに味わってもらいます。手打ち蕎麦の道具持参で、老人ホームや児童養護施設にも行きます。一ヶ月ほど前に施設を訪ねた時、中学生に「やってみたい？」と声をかけたら、「はい。」というので、俄かに蕎麦打ち体験教室が始まりました。師匠の指導もよろしく半日ほどでほぼ会得し、「俺たち、十年も修行してきたのに半日で追い越された。」と大笑いしました。彼の夢は料理人になることだそう。是非夢を叶えてほしいと思いました。

「今年もヒマワリが綺麗に咲いたね。」樋遣川の手打ち蕎麦はやっぱり美味しいね。」という言葉をいただくと本当に嬉しくなります。誰かの役に立っているという思いは、生きがいです。お金では買えない心の充実感です。

そんな充実感を知ってしまった仲間の集まりが、まちづくりネットワーク・かぞです。地元の神社で花見会や夕涼み会をしたり、小学校で子ども夏祭りを開催したり、地域でラベンダー畑を広げたり、あやめ祭りで田舟を漕いでお客を乗せたり、クリスマスに壮大なイルミネーションを作ったり…。それぞれの団体がユニークな企画を立てて活動を広げています。只々、みんなを喜ばせたい、みんなを笑顔にさせたいという思いなのです。

ネットワークを組むことで、互いに助け合ったり、新しい発想が生まれたりします。活動に行き詰った時、次の一歩を踏み出す力をもらうこともあります。そして、毎月の定例会では、自分たちがどんなに楽しかったかを自慢しあうのです。



6月定例会で、290 公働塾が活動発表しました。市民プラザかぞにて。

編集後記

皆様のご協力のもと、まちネットワークも第二四号を発行することができました。

私たち、不動産浪漫研究会も、一年を通して、不動産の魅力発信する事業を展開しております。

これからも、地域の仲間たちと力を合わせ、歴史と文化の交差するまち不動産の良さを伝えていきたいと考えております。

（不動産浪漫研究会 今成 信彦）